

センター通信は、医大学内の全教員と希望者の皆さんに配信しております。

センター通信 Vol.37

▼ 目次 ▲

1. e-Rad（府省共通研究開発システム）について
2. 5月締切分国費（科研費以外）助成金 公募案内
3. 5月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内

1. 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）について

平成20年1月より、競争的資金等の配分における重複や過度の集中を避ける為に、e-Radと呼ばれる管理システムが運用されています。

科学研究費補助金や一部の競争的資金・プロジェクト研究資金については、e-Radを利用した電子申請が開始されており、e-Radでの研究者登録が必須となります。

登録が必要な場合は、産学・地域連携センターまで御相談ください。（本学に転入された方で、前所属機関で登録されている場合も、新たに本学において登録が必要です。）

2. 国費（科研費以外）助成金 公募案内

産学地域連携センターに案内のあった、国費助成金の公募案内を紹介しております。

いずれの案件に関しましても、産学地域連携センターでは、産学地域連携コーディネーターによるサポートを行っております。申請に関する相談にも対応しておりますので、何か御不明な点が御座いましたら、御連絡下さい。（産学官連携コーディネーター佐藤：内線2108）

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_5.html#gakushin_chomei

平成22年度分 外国人著名研究者招へい事業（第2回）

【趣旨】

卓越した研究業績を有する研究者を複数回招へいし、受入機関全体の研究活動等への助言・協力及び講演開催等を通じて、大学等の研究水準及び国際的評価の向上に資することを目的とする

【採用予定数】

約2名

【採用期間】

原則1年以内（来日時期は平成22年10月1日～）

【支給経費】

①著名研究者に対する経費

渡航費・滞在費・家族手当・国内旅費・損害保険

②受入機関に対する経費

受入準備費

【著名研究者の要件】

ノーベル賞受賞者など特段に優れた業績をもち、現在も指導的立場にある外国人研究者で、わが国と国交がある国の国籍を有する者

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_5.html#gakushin_23tokubetu

平成 23 年度採用分 特別研究員

①DC1 ②DC2 ③PD ④SPD

【趣旨】

優れた若手研究者にその研究生活の初期において、主体的に研究課題を選びながら研究に専念する機会を与える

【採用期間】

①③④3 年間

②2 年間

※いずれも平成 23 年 4 月 1 日からの採用

【採用予定数】

約 1,600 名

【研究奨励金】

①②月額 200,000 円 ③月額 362,000 円 ④月額 446,000 円

※ただし③の内、博士の学位を取得していない者は月額 200,000 円

【研究費】

科学研究費補助金の応募資格が与えられ審査を経て毎年度 150 万円以内（④は 300 万円以内）の研究費が交付されます。

【応募資格】

大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等

※年齢及び在学年次・学位等の詳細は募集要項をご参照ください。

【学内×切】

平成 22 年 5 月 21 日

【申請手続】

日本学術振興会の電子申請システムによる申請手続きと申請機関からの申請書類の提出が必要です。

(1) 電子申請

申請には日本学術振興会研究者養成事業用 ID・パスワードの取得が必要です。未取得の方は産学地域連携センター（内線 2109）までご連絡下さい。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_5.html#gakushin_takokukan_22_5

第 1 回 多国間国際共同研究事業

【事業目的】

気候変動、水、エネルギー、感染症、世界的な食料供給といったグローバルな課題に対して、日本、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、カナダ、ロシアの 7 カ国の学術振興機関による新しい多国間の研究支援プログラムの実施を目的とする。

【応募テーマ】

地球規模課題のためのエクサスケール・コンピューティングを目標とした応用ソフトによる学際的プログラム

【採用期間】

2 年または 3 年間

【採用形態】

本事業に参加する 7 カ国から、最低 3 カ国以上の研究プロジェクトで構成されるコンソーシアム単位

【本会支給経費】

1,500 万円以内/年/件

【採用予定件数】

我が国の研究者による研究プロジェクト 5 件程度を予定

※全学術振興機関で併せて 8～10 の研究コンソーシアムを採択予定

【応募資格】

我が国の研究機関に所属する常勤の研究者又は常勤として位置づけられている研究者

【応募×切】

- ① 予備申請 : 平成 22 年 5 月 7 日 (公募事務局へ直接応募)
- ② 本申請 : 平成 22 年 8 月中旬 (学内×切)

【申請手続】

本事業は、「予備申請」と「本申請」の 2 段階で審査が行われます。

- ①予備申請は、コンソーシアムを代表する研究者が取り纏めの上、公募事務局であるドイツ研究振興協会 (DFG) に提出することになります。
- ②本申請は予備審査を通過したコンソーシアムのみ手続を行います。コンソーシアムを代表する研究者が取り纏めの上、申請書を公募事務局に提出します。日本側研究代表者は日本学術振興会に対して本申請書の写しと日本学術振興会が別途定めている申請書を提出することになります。

■□■ 独立行政法人日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_5.html#gakushin_saisentan_2010_5

最先端・次世代研究開発支援プログラム

【目的】

新たな科学・技術を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、人文・社会科学的側面からの取組を含め、挑戦的な研究課題を幅広く対象とし、政策的・社会的意義が特に高い先端的研究開発を支援することを目的とする

【研究課題の要件】

- ・グリーン・イノベーション又はライフ・イノベーションの推進に幅広く寄与する課題
- ・新たな科学・技術を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発
- ・人文・社会科学的側面からの取組を含め、世界的・国民的な課題の解決に貢献する挑戦的な取組

【研究期間】

4 年以内

【助成金額の上限額】

年度数×5 千万円 (総額 2 億円を上限)

【採択件数】

300 件程度

【応募資格】

下記要件を全て満たす者

- ①我が国の研究機関に所属する (予定者も含め) 研究者
- ②平成 22 年 4 月 1 日時点で満 45 歳以下の者
※女性研究者は年齢を問わず応募可
- ③自己の責任で主体的に研究を進める立場にあること

【学内×切】

平成 22 年 5 月 6 日

【申請手続】

府省共通研究開発管理システム (e-Rad) での電子申請システムによる申請手続と申請書類の提出が必要です

※e-Rad システムで登録がお済みでない研究者 (本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む) の方は産学地域連携センター (内線 2109) までご連絡下さい。

■□■ 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) ■□■

<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

平成 22 年度 戦略的創造研究推進事業 第 1 期募集

《CREST》

【事業の概要】

既存の研究領域ごとに、研究代表者が研究構想を実現できる研究チーム (数名~20 名程度) を編成し実施する研究提案 (課題) を募集する。(※各研究領域については、募集要項の 53~72 ページをご覧ください。)

【期間】

5 年以内

【研究費】

I) 1 億 5 千万円～2 億 5 千万円程度

II) 3 億円～5 億円程度

※研究費種別 II を選択する場合は、種別 I よりも大きな研究成果が出る事が期待されます。

【採択件数】

研究領域ごとに 4～10 件程度

【応募資格】

- ・ 自らが当該研究課題を推進する研究代表者
- ・ 研究チームの責任者として課題全体の責務を負うことができる研究者

【応募締切】

平成 22 年 5 月 18 日（正午）

《さきがけ》

【事業の概要】

既存の領域ごとに、研究提案（研究課題）を募集し、各研究領域総括の研究マネジメントの下に、個人で研究課題を実施する。

【研究タイプ】

I) 通常型

II) 大挑戦型

※II) 大挑戦型は、成功した場合には、飛躍的・画期的成果が期待できる研究であって、実現の可能性の観点からは見通しが得難いハイリスク研究を積極的に採択する。

【期間】

3 年または 5 年

【研究費】

3 年型) 総額 3～4 千万円程度

5 年型) 総額 5～10 千万円程度

【採択件数】

10 研究領域で 100 件程度

【応募資格】個人

- ・ 自らが申請研究課題を推進する研究者

【応募締切】

平成 22 年 5 月 11 日（正午）

※上記締切は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）による申請期限です。御注意下さい。

※e-Rad システムで登録がお済みでない研究者（本年度より札幌医科大学に就任された研究者を含む）の方は産学地域連携センター（内線 2109）までご連絡下さい。

■□■ 独立行政法人 日本学術振興会 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/kokuhi_2010_5.html#gakushin_syo_2010_5

第 7 回（平成 22 年度）「日本学術振興会賞」受賞候補者

- ①機関長推薦（学長推薦）
- ②個人推薦（優れた研究実績を有する我が国の学術研究者）

【趣旨】

我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させまたその研究意欲を高めるために、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰する

【授賞数】

20 件程度

【贈呈されるもの】

賞状・賞牌・研究奨励金 110 万円

【学内〆切】

平成 22 年 5 月 6 日

【候補者の要件】平成22年4月1日現在で以下の条件を全て満たす者

- ・国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者
- ・45歳未満の者
- ・博士の学位を取得している者

【その他】

- ・機関長推薦（学長推薦）または個人推薦で学部長の推薦を希望される場合は、推薦書の推薦者欄は推薦理由の記載にとどめ、推薦者氏名等は空欄のままご提出下さい。また、学部長以外の個人推薦を希望する場合は、推薦者欄を全て記入の上センターにご提出下さい。

■□■ 独立行政法人科学技術振興機構（JST） ■□■

<http://sciencecommunication.jst.go.jp/chiikikatudou/koubolist#>

平成22年度 地域の科学舎推進事業

【事業の概要】

地域の児童生徒や住民を対象として実施する科学技術に関する体験型・対話型の学習活動等を支援する事業

【活動形式】

- I) 単独型：単一機関が実施する活動
- II) 機関連携型：申請機関が他の機関と連携し実施する活動
- III) 研修会実施型：科学コミュニケーション活動の実践を志すスタッフ・講師・助手等を養成するための研修会

【支援上限額】

- I) 50万円（税込）
- II・III) 100万円（税込）

【期間】

平成22年7月1日（木）から平成23年2月28日（月）に行われる活動

【支援件数】

約100件

【応募資格】

申請責任者（実施主担当者）は申請機関に雇用されている教職員等で20歳以上の者

※学生を実施主担当者・副担当者に登録することはできません。

【応募締切】

平成22年5月17日（木）正午

【応募方法】

JSTの電子公募システムでの申請となります。初めて本システムを利用する方は、下記JST電子公募システムより利用登録を行いID・パスワードの発行を受けて下さい。

<https://puf.jst.go.jp/rqp/index.html>

3. 5月学内締切分 民間財団等助成金 公募案内

産学地域連携センターに案内のあった、民間財団助成金の公募案内を紹介しております。

産学地域連携センターHPで、毎月民間財団等助成金の公募案内を定期的に更新しております。月ベースの学内締切で検索できるようにしておりますので、併せてご参照下さい。民間助成金公募案内に関して何か御不明な点がありましたら、御連絡下さい。（岩窪・藤原：内線2174）
助成金案内HP: <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/sangaku.html>
(学内限定)

■□■ (財)成人血管病研究振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#imura_1_2010_5

平成 22 年度 井村臨床研究賞（第 7 回）

【対象分野】

- (1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究
- (2) 疾患の成因や病態生理の解明
- (3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

【贈呈数】

1 名または 1 研究グループ

【贈呈内容】

- (1) 賞状
- (2) 賞牌（ゴールド・メダル）
- (3) 副賞（研究助成金 300 万円）

【応募資格】

人、特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究で、すぐれた成果をあげた国内の研究者または研究グループ

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

【推薦者名】

学長の推薦を必要とします。推薦書は推薦理由の記載にとどめ、推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【添付書類】

応募書類に記載した論文のうち、主なもの 3 編につき各 2 部（コピー可）をご提出ください。

■□■ （財）成人血管病研究振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#imura_2_2010_5

平成 22 年度 井村臨床研究奨励賞（第 7 回）

【対象分野】

- (1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究
- (2) 疾患の成因や病態生理の解明

(3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

【贈呈数】

3 名以内

【贈呈内容】

- (1) 賞状
- (2) 賞牌（シルバー・メダル）
- (3) 副賞（研究助成金 50 万円）

【応募資格】

- ・人、特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究で、注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の研究者
- ・平成 22 年 3 月 31 日現在で 45 歳未満であること

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

【推薦者名】

学長の推薦を必要とします。推薦書は推薦理由の記載にとどめ、推薦者欄は空欄のままご提出ください

【添付書類】

応募書類に記載した論文のうち、主なもの 3 編につき各 2 部（コピー可）をご提出ください。

■□■ 公益信託 外科学研究助成基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#gekagaku_1_2010_5

平成 22 年度 研究助成

【助成対象】

わが国の大学又は研究機関における外科学に関する研究であること

【助成金額】

50 万円/1 件

【助成件数】

5 件

【応募資格】

年齢満 45 歳以下の研究者を主担当とする研究であること

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

【推薦者名】

学長、学部長、担当教授いずれかの推薦を必要とします。学長、学部長の推薦を希望する場合は、推薦者欄の記入は推薦理由にとどめ、氏名・役職の欄は空欄のままご提出ください。また、提出時に学長、学部長どちらの推薦を希望するかをお伝え下さい。担当教授の推薦を希望する場合は、推薦者欄をすべて記入し、押印を頂いてからご提出をお願いいたします。

■□■ 公益信託 外科学研究助成基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#gekagaku_2_2010_5

平成 22 年度 研究会等開催助成

【助成対象】

①わが国の医学団体、大学等が主催または後援する外科学及びその関連科学、技術等の研究発表、共同研究、意見交換を行うための会合（親睦・交流目的は除く。）の開催費用

②上記の会合への医学者、研究者の招聘費用

【助成金額】

50 万円/1 件

【助成件数】

1 件

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

【推薦者名】

学長、学部長、担当教授いずれかの推薦を必要とします。学長、学部長の推薦を希望する場合は、推薦者欄の記入は推薦理由にとどめ、氏名・役職の欄は空欄のままご提出ください。また、提出時に学長、学部長どちらの推薦を希望するかをお伝え下さい。担当教授の推薦を希望する場合は、推薦者欄をすべて記入し、押印を頂いてからご提出をお願いいたします。

■□■ 公益信託 外科学研究助成基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#gekagaku_3_2010_5

平成 22 年度 国際交流助成

【助成対象】

①海外の医学団体、大学又は研究機関が主催または後援する外科学及びその関連科学、技術等の研究発表、共同研究、意見交換を行うための会合（親睦・交流目的は除く。）へのわが国の医学者、研究者の参加費用

②わが国の医学団体、大学等が主催または後援する外科学及びその関連科学、技術等の研究発表、共同研究、意見交換を行うための会合（親睦・交流目的は除く。）への海外の医学者、研究者の招聘費用

【助成金額】

50 万円/1 件

【助成件数】

1 件

【学内×切】

平成 22 年 5 月 17 日

【推薦者名】

学長、学部長、担当教授いずれかの推薦を必要とします。学長、学部長の推薦を希望する場合は、推薦者欄の記入は推薦理由にとどめ、氏名・役職の欄は空欄のままご提出ください。また、提出時に学長、学部長どちらの推薦を希望するかをお伝え下さい。担当教授の推薦を希望する場合は、推薦者欄をすべて記入し、押印を頂いてからご提出をお願いいたします。

■□■ (財) 内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#naitou_syorei_2010_5

第42回内藤記念科学奨励金（研究助成）

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に対し、研究費の一部を補助する

【助成金額】

300万円

【採択件数】

80件

【応募資格】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組んでいる若手研究者（年齢制限は無い）

【学内×切】

平成22年5月11日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります

（1推薦者につき1件）

【添付書類】

宛名シール

■□■ (財) 内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#naitou_josei_2010_5

第5回内藤記念女性研究者研究助成金

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を上げることがを支援する目的で、研究に必要な経費を補助する

【助成金額】

300万円/年の3年間

【採択件数】

5件以内

【応募資格】

- ・自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組んでいる一定以上の研究業績をあげた博士号を持つ研究者
- ・出産日から職場復帰（予定日）までが36ヶ月以内の女性研究者

【学内×切】

平成22年5月11日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります

（1推薦者につき1件）

【添付書類】

- ・出産日を証明する書類（母子手帳の写し又は出生証明書等）
 - ・同一人物であることを証明する書類（旧姓を使用し、出生証明書と名前が異なる場合のみ）
 - ・宛名シール
-

■□■ (財) 内藤記念科学振興財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#naitou_syohei

[2010_5](#)

第42回内藤記念海外学者招へい助成金

【趣旨】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助する

【招へい時期】

前期：2011年1月1日～2011年6月30日

【助成金額】

20万円～80万円（エリアによって異なる）

【採択件数】

前期・後期各10件以内

【応募資格】

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会組織委員長

【学内×切】

前期 平成22年5月11日

【推薦者名】

学部長の推薦が必要です。推薦者欄は空欄のままご提出ください。

【備考】

学内選考があります

（1推薦者につき、前期・後期各々1件）

【添付書類】

- ・組織委員長及び招へい学者が明記されている当該学術集会プログラム・パンフレット等
- ・宛名シール

■□■ （財）木村記念循環器財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#kimura_2010_5

第11回バイエル「臨床血管機能」研究助成 学術論文募集

【研究テーマ】

心血管病・脳血管障害・末梢血管病（臨床研究に限る）

【助成金額】

- ・最優秀研究 200万円（1件）
- ・優秀研究 100万円（2件）
- ・入選研究 50万円（7件）

【応募資格】

- ・原則として個人研究
- ・応募時（平成22年5月31日まで）の年齢が40歳未満
- ・臨床教室・臨床関連教室および病医院

※前年度の全助成対象者は応募不可

【学内×切】

平成22年5月14日

【申請書類】

- ・申請用紙
- ・研究抄録原稿
- ・研究要旨
- ・業績リスト（フォームは自由とする）

【添付書類】

・今回の研究テーマに関連するもので、既に発表している文献（応募者本人のもの）があれば最近のものを3編以内（各2部）をご提出下さい。

■□■ （財）住友生命健康財団 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#sumitomo_2010_5

2010年度コミュニティスポーツ推進助成「調査・研究プロジェクト」

【助成対象】

①市民と専門家が協力し楽しみながら作り上げるプロセスを重視した、コミュニティスポーツの開発とその実践手法

②健康にかかわる社会的な支援が十分でない人たちを対象にした、コミュニティスポーツへの参加促進とその支援方策

③健康に課題をもつ市民のコミュニティスポーツの実践とその健康への影響評価

④人間の健康とコミュニティスポーツに関わる人文・社会科学や自然科学等の研究成果を市民活動等の実践現場へフィードバックする手法

⑤健やかなひと・社会づくりのための、日本社会に適したコミュニティスポーツの制度・社会基盤の構築

※上記テーマに該当しないものでも、趣旨に適った先駆的かつ社会的意義の大きい調査・研究で、選考委員会において高い評価が得られたものは助成の対象とする

※研究者と市民グループなどの実践者が共同して取り組むプロジェクトを期待する

【助成期間】

1年間（2010年10月1日～2011年9月30日）

【助成金額】

1件あたり50万円以上400万円以下

【助成件数】

4～5件程度

【応募資格】

コミュニティスポーツに関心のある組織や個人

【学内〳切】

平成22年5月17日

■□■ 公益信託 臨床検査医学研究振興基金 ■□■

http://web.sapmed.ac.jp/ircc/internal/minkan_2010_5.html#rinsyo_kensa_2010_5

平成22年度 研究奨励金

【対象】

臨床検査医学（臨床病理学、臨床検査診断学、検査診断学、病態検査学等）および臨床検査分野に関する研究のうち、本基金の目的に合致するもの

【助成金額】

1件100万円以内

※原則として、贈呈後の1年以内に使用すること

【応募資格】

以下の①～③全ての項目に該当しないこと

①応募締切日において年齢50才以上の者

②教授、病院・研究所等の部長職以上の者

③過年度において本基金の研究奨励金を受けた者

【学内〳切】

平成22年5月31日

【推薦者名】

学長、学部長の推薦を希望される場合は、推薦理由の記載にとどめ、推薦者欄は空欄のままご提出ください。また、提出時に学長、学部長どちらの推薦を希望するかをお伝え下さい。

【承諾者欄について】

・学長の承諾が必要となりますので、承諾欄は空欄でご提出下さい。

・候補者氏名は、ご自身にて自署（サイン）をお願いします。また、申請（推薦）書の他に論文の別刷またはコピーを10編程度（各2部）を提出してください。

・推薦書は片面印刷でご提出下さい。

附属産学・地域連携センター通信

担当 佐藤 準(産学官連携コーディネーター)・齊藤 亜耶

発行 札幌医科大学 附属産学・地域連携センター

URL <http://web.sapmed.ac.jp/ircc/index.html>

メール renkei@sapmed.ac.jp